

タイ政府日本教職員招へいプログラム (タイ派遣プログラム)

(2022 年 9 月 19 日、20 日、23 日：オンライン)

実施要項

1. 背景

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター (ACCU) は、ユネスコの基本理念に基づき、相互理解の促進と持続可能な社会の実現に資するため、アジア太平洋の人々と協働し、教育と文化の分野において地域協力・交流活動を推進しています。その活動の一つとして、アジア太平洋地域の国々の相互理解と友好の促進を目的に、未来を担う子どもたちを育む「教職員」を対象とした国際交流事業を日本政府の協力のもと 2001 年より開始し、これまでに日本と韓国・中国・タイ・インドとの間で、4 千人を超える海外教職員を日本へ招へいし、また日本からは 1 千人以上の教職員を海外に派遣してきました。その結果、教職員の学びが数多くの児童生徒・教職員・地域住民に還元されるほか、当事業をきっかけに多くの学校間の国際交流が生まれ、各国間の相互理解と友好の促進に貢献してきました。

初等中等教育にかかる日タイ間の交流事業は、2015 年度にタイ教職員を日本に招へいするプログラムが開始されて以来、毎年 15 名のタイ教職員が日本を訪問し、教職員や児童・生徒との交流を深めてきました。そして、これらの実績が評価され、2017 年に行われた日タイの教育大臣による会談においてタイ政府による日本教職員の受入れが提案されたことを契機に、2018 年から「タイ政府日本教職員招へいプログラム」が開始され、2019 年度までに 12 名の日本教職員がタイを訪問しました。2022 年度は、タイ教育省およびチュラロンコン大学協力のもと、前年度に続いてオンライン形式で 15 名の教職員を対象にアートをテーマとしたワークショップ・プログラムが提供されます。

2. 目的

- (1) オンラインワークショップやアクティビティを通じた意見交換を通じて、参加者がタイの教育で大切にされている知恵や導入事例についての知識を深めること。
- (2) 参加者がタイの教育事情、とくにアートを通じた教育についての理解を深めること。
- (3) 参加者がプログラムを通して、将来的にタイと教育分野における協力を強化していく下地をつくること。

3. 活動内容

「アートは世界の共通言語ータイの文化・芸術教育から学ぼうー」をテーマとした講義およびワークショップ

4. 日程

プログラム実施期間：2022 年 9 月 19 日（月・祝） - 9 月 23 日（金・祝）のうち 3 日間

日時	日程	プログラム内容
9 月 19 日（月・祝） 16:00-18:00 （オンライン）	1 日目	・プログラム開会式

		<p><u>ワークショップ①</u> テーマ：バーチャルミュージアムツアー&日本とタイのアート・コラボレーション 講師：Dr. Sarita Juaseekoon and Dr. Sirikoy Chutataweesawas</p> <p>初日のワークショップでは、タイで最も古い博物館であるバンコク国立博物館をオンラインで訪れ、タイの文化が表現されたアートとともに鑑賞します。参加者は、タイと日本の文化や環境に共通する価値観を学び、自然や仏教など、アートのインスピレーションとなるものを学びます。後半では、ワークショップで学んだタイのアートの要素を使ったデザインに挑戦します。</p> <p>持ち物：鉛筆、色鉛筆、消しゴム</p>
9月20日(火) 16:00-18:00 (オンライン)	2日目	<p><u>ワークショップ②</u> テーマ：子どもの発達のためのアート 講師：Assistant Professor Apichart Pholprasert (Ph.D.)</p> <p>二日目のワークショップでは、アートとそれが持つ価値を理解するための基礎的な内容を理解し、子どもの様々な能力の発達を促すことについて学びます。</p> <p>創造性や想像力を高めるというアートの特性に重点を置きつつ、アートが生涯を通じていかに多様な次元で人間の幸福を促進しうるのかを考えていきます。また、リラックスした雰囲気の中で絵を描くアクティビティを通して、参加者が絵を描くことに自信を持ち、最終的には授業に絵を取り入れることができるようになることを目指します。</p> <p>持ち物：鉛筆、色鉛筆またはクレヨン、消しゴム、濃い色のマーカー（黒、紺、茶色など）、A4サイズの紙5枚</p>
9月23日(金・祝) 16:00-18:00 (オンライン)	3日目	<p><u>ワークショップ③</u> テーマ：タイの学校教育における伝統音楽および舞踊 講師：Ph.D Vitchatalum Laovanich and Ms. Jutimaporn Paojinda</p> <p>最終日は、タイの伝統音楽と舞踊を理解するための基礎と、子どもたちの様々なスキルの発達という側面から伝統音楽・舞踊を取り入れる価値について学びます。参加者は様々なアクティビティを通して、タイの音楽とダンスの要素を体験します。</p>
		プログラム閉会式

注：プログラム内容については変更の可能性あり。詳細が決定次第、参加者に共有する。

5. 参加者

日本の初等中等教育に携わる教職員計 15 名を参加者とする。

6. 参加資格

(1) 日本国籍を有すること。

- (2) プログラムの全日程に参加が可能であること。
- (3) タイとの教育交流に関心を持ち、プログラム期間中の活動に積極的に参加できること。
- (4) Zoom を利用したオンライン形式でのプログラムに対応可能であること。

7. 通訳

プログラム期間中は、タイ語⇔日本語の通訳が提供される。

8. 情報管理・その他

以下に関して、あらかじめ了承した上で参加申請すること。

・プログラム期間中に撮影された写真等は、文部科学省、ACCU、タイ教育省、チュラロンコン大学の作成する資料やホームページなどの紙・電子媒体で、随時使用、掲示・掲載される。

・参加者から提出される申請書類にある情報は、プログラム準備・運営のため、必要に応じて、文部科学省、在タイ日本国大使館、タイ教育省、在京タイ大使館、チュラロンコン大学に共有される。

※情報は厳重に取り扱われ、本プログラム運営以外の目的で使用されることはございません。

- ・本事業への参加後に、アンケート調査への協力依頼がなされる。

9. このプログラムに関する照会先

公益財団法人 ユネスコ・アジア文化センター (ACCU)

国際教育交流部 (担当: 高松・蓮見)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-7F 出版クラブビル

TEL: 03-5577-2853 FAX: 03-5577-2854

E-mail: accu-exchange_ml@accu.or.jp